

作成日 2008年03月03日
改訂日 2009年10月01日
改訂日 2010年12月30日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 TDエース粒剤 (イソキサチオン粒剤)
会社名 保土谷UPL株式会社
住所 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号
担当部門 営業部
電話番号 03-6225-3194 FAX番号 03-6225-3197
メールアドレス hodogayaupl@hodogaya-upl.com
緊急連絡先 保土谷UPL株式会社 営業部 電話番号 03-6225-3194
整理番号 0207

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼損傷/眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1A
	標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分1 (呼吸器系)
	標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	区分1 (呼吸器系、腎臓の障害)
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1

*記載がないものは、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素:

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報：発がんのおそれ

臓器の障害（呼吸器系）

長期にわたる、または反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害

眼刺激

水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

[予防策]

使用前に取扱い説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

環境への放出を避けること

[対応]

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

取り扱った後、よく手を洗うこと。

漏出物を回収すること。

[保管]

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学名	0,0-ジエチル-0(5-フェニル-3-イソキサゾリル)ホスホロチオエート		
一般名	イソキサチオン		
成分	イソキサチオン	*ベントナイト	鉱物質微粉等
含有量(%)	2.0%	32.0%	66.0%
化学式	C ₁₃ H ₁₆ NO ₄ PS	—	
官報公示整理番号	化審法	—	—
	安衛法	8-(7)-407	
CAS No.	18854-01-8	1302-78-9	

化学物質管理促進法 : 第1種指定化学物質第250号 イソキサチオン

労働安全衛生法第57条の2

第1項の通知対象物 : No. 312 (シリカ)

*ベントナイト中には結晶シリカ (CAS No.14808-60-7) を20~40%程度含有する。

4. 応急措置

吸入した場合 : 患者を直ちに新鮮な空気のところへ移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受けさせる。解毒剤として硫酸アトロピン製剤およびPAM製剤が有効である。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣や靴等を速やかに脱がせ、付着部を直ちに多量の水で洗い流した後、石鹼を使ってよく洗い流す。

眼に入った場合：直ちに多量の水で最低 15 分間洗眼し、眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせる。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。解毒剤として硫酸アトロピン製剤および PAM 製剤が有効である。

5. 火災時の措置

消火剤：水の高霧、粉末、炭酸ガス、泡等。

特定の消火方法：火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消化する。また、延焼を防ぐため、周囲の設備等に散水する。消火作業は風上から行い、場合により呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：・風上から作業し、風下の人を退避させる。

・漏出した場所の周辺にはロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。

・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

・作業の際には必ず保護具（農薬用マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、保護衣等）を着用する。

環境に対する注意事項：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：粉塵が飛散しないように注意して掃き集め、密封できる容器（廃棄物入れ）に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：・適切な保護具（農薬用マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、保護衣等）を着用して行う。

・換気のよい場所で行う。

・眼に入ったり、皮膚や衣類に接触しないよう注意する。

・取扱い後は、手足、顔及び衣類をよく洗う。

・使用の際はラベルをよく読む。

保管：冷暗所で、密閉容器に入れて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度：未設定。

許容濃度：未設定。

保護具：呼吸用保護具（農薬用マスク）、保護眼鏡、保護手袋、（ゴム手袋）、保護衣（定められた作業衣、保護長靴または安全靴）等を必要に応じて着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

外観等（製剤）：淡青緑色細粒。

pH (20%希釈液) : 7.2
見掛け比重 (製剤) : 1.19

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の取扱い、保管で安定。
反応性：通常取扱い、保管で安定。

11. 有害性情報

急性毒性 (製剤) : 経口 ラット LD₅₀ ; ♀ > 2,000mg/kg
経皮 ラット LD₅₀ ; ♂♀ > 2,000mg/kg
感作性 (製剤) : 陰性
皮膚刺激性 (製剤) : 刺激性なし
眼刺激性 (製剤) : 軽度の刺激性あり

最重要危険有害性

有害性 : 眼に対して軽度の刺激性がある。コリンエステラーゼ活性阻害剤であり、吸入あるいは飲み込んだ場合、有機リン剤共通の中毒症状を呈する。
環境影響 : 蚕およびミツバチに対して影響があるので、桑葉やミツバチの巣箱およびその周辺にかからないように注意して使用する。水産動植物 (甲殻類) に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
物理的及び化学的危険性 : 通常取扱い方法では、その該当がない。
分類の名称 : 分類基準に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性
魚毒性 (製剤) : コイ 96 時間 LC₅₀ ; 114.9mg/L
オオミジンコ 48 時間 LC₅₀ ; 0.0071mg/L
藻類生長阻害 72 時間 ErC₅₀ ; 25.5mg/L

13. 廃棄上の注意

国及び地方自治体の廃棄物処理に関する法律に従う。廃棄物を河川、下水道等に流さないこと。

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件 : 国及び地方自治体の輸送に関する法律を遵守する。容器に収容し、常に密封状態を保つ。容器が転倒、破損することがないように積載する。有蓋車、またはシートをかけて運搬する。

15. 適用法令

農薬取締法 登録番号第 21880 号

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常取扱いを対象にしたものであって、特別な取り扱いをする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先	: 財団法人 日本中毒情報センター	
中毒110番	一般市民専用電話	医療機関専用有料電話
	(通話料のみ相談者負担)	(一件につき2,000円)
大阪 (365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9時~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999